

留萌ダム 水源地域ビジョン検討会だより

発行：北海道開発局留萌開発建設部 留萌ダム建設事業所

こんなことがしたい！こんなこと、してみようよ！
～具体的な取り組みを考えます！



留萌周辺の資源って何があるのだろう・・・？

良いアイデアないかなー・・・？



- ・開催日時：平成19年2月28日(水) 18:00～20:15
- ・開催場所：留萌市中央公民館
- ・参加者数：検討委員13名

前半の全体会議では改めて、水源地域ビジョンの目的や進め方を確認し、皆さんにいただいた質問への回答を行いました。後半の班会議では、これまで2回開催された会議の中で出された意見を基に、「こんなふうに使っていききたい」「ダム周辺環境整備」をテーマに意見交換を行いました。

班会議（1グループ）の意見集約です。

おおまかな構想も見えてきたかな・・・？



◆第3回検討会プログラム◆

1. 開会
2. 水源地域ビジョンについて
3. 前回いただいた質問への回答
4. 意見交換
留萌ダム及びその周辺を「地域資源」としてこんなふうに使っていききたいというイメージから「活動内容・いつ・誰が・必要な情報は」を考えていく（次ページに主な内容を記載しております。）
5. 今後のスケジュールについて
6. 閉会

全体会議

班会議

班会議での意見交換の紹介

班会議では、メンバーそれぞれの興味・関心により出される意見もバラエティーに富んでいます。各班で出された取り組みたい活動の方向と主な意見を紹介します。

A班

●取り組みたい活動の方向

- ・自然を復元していく取り組みを段階（個人・少人数の仲間・組織）を踏んでいく。
- ・情報（魅力）の発信の工夫。

●主な意見

- ・ダム建設に伴い壊されてしまった自然を保護・復元していくことが大切である。
- ・人が憩えるように最低限の施設とダムを活用する人をサポートできるような体制・システムがあるとよい。
- ・周辺環境の魅力の発信の仕方を工夫することが必要である。



B班

●取り組みたい活動の方向

- ・活動のテーマを「市民が関われるダム」「市民がふれあうダム」「市民を育てるダム」とする。
- ・子ども・学校を対象に親子に活動を広げる。
- ・まずはダムウォッチングを試験的に行いその仕組みを他に応用していく。

●主な意見

- ・活動主体として検討会メンバー・地域の住民をガイド役やボランティアとして育成してはどうか。
- ・ダムは立地条件（まちから近いなど）がよいので活動する上で期待できる。
- ・ダムができて人が集まることで生じる問題についても考える必要がある。



C班

●取り組みたい活動の方向

- ・食ツーリズムのようなツアーならできる。地元のものでも名物をつくる。
- ・しっかりとビジネスになるものを考える。

●主な意見

- ・ダムだけで人はよべない。箱物をつくるのではなく、素敵だと思うもの、例えば、景観や生きものなど自然を活かすことが大事である。次世代に夢や希望が残るように。
- ・ダムが山や川の自然の魅力や利用を伝える場所になるのではないかと。
- ・食や活動の拠点があってダムに立ち寄り、ついでに海まで足を伸ばす形になるとよい。



具体的な活動について検討をすることで、必要な情報や課題なども見えてきますね。次回検討会は、6月頃に開催予定です。

■留萌ダム水源地域ビジョンに関するお問合せ

国土交通省北海道開発局留萌開発建設部 留萌ダム建設事業所
留萌ダム水源地域ビジョン事務局（担当：工務係）

〒077-0037北海道留萌市沖見町3丁目91番 電話：0164-42-5831 Fax：0164-42-0195